

とやま新事業創造基金

# 農商工連携 ファンド事業

助成金額の上限が

**800**  
万円

助成率2/3以内  
になりました!

## 1 対象者

- ①創業を行う者又は経営の革新を行う中小企業者と農林漁業者との連携体
- ②自ら事業を行うNPO等の中小企業者以外の者\*と農林漁業者との連携体

\*NPO、商工会、商工会議所等、また富山県内に事業所、事務所を有すること。

## 2 対象事業

- ①新商品を開発しようとする事業
- ②新サービスを開発しようとする事業
- ③上記①又は②と合わせて販路を開拓しようとする事業

## 3 助成率・助成金額・助成期間

上限**800万円**(助成率2/3以内)

※案件内容により、3年間までの継続支援あり。

## 4 補助対象経費

以下の経費のうち、消費税額を控除したもの。

例 ●事業費 …… 専門家謝金、専門家旅費、職員旅費、印刷製本費、広告宣伝費、展示会等出展料、会場借料、保険料、通訳料、通信運搬費、産業財産権等取得費(但し、特許庁に納付される手数料等を除く)、委託費(コンサルタント経費、調査費等)など。

●試作・開発費 原材料費、機械装置・工具器具備品費(改良費・保守費を含む)、借損料、試験・検査費、委託費(デザイン料、設計費、外注加工費、コンサルタント経費、研究費等)など。

## 5 応募方法

申請の書類を、郵送等で当機構まで送付してください。

「とやま新事業創造基金 農商工ファンド事業 交付申請書」

※様式は当機構のホームページからダウンロードできます。

URL : <http://www.tonio.or.jp/hanro/renkei.html>

## 6 募集時期

春期 5月上旬締切 秋期 9月上旬締切

## 7 留意事項

助成金交付後5年間は助成対象事業の収益状況を報告いただくとともに、純利益が生じた場合には助成金の全部または一部を返還納付いただく場合があります。

【お問い合わせ先】



TONIO  
Toyama  
New Industry  
Organization

公益財団法人 富山県新世紀産業機構

〒930-0866 富山市高田527番地(情報ビル)  
公益財団法人 富山県新世紀産業機構 取引設備支援課  
TEL(076)444-5650 FAX(076)444-5644

農商工連携  
ファンド  
事業とは

中小企業者と農林事業者が連携し、双方の経営資源を活用して、事業者にとって新商品や新サービスを生み出すことです。連携する双方が工夫を凝らした取り組みを展開することにより、それぞれにとって経営の向上・改善が図られることが期待されます。

## 利用者募集!

## 新商品・新サービス展開のイメージ

## 農林漁業者

伝統の味を用いて、高齢化が進む地域のアイデンティティを創造し、活性化を狙う



## 中小企業者

干し柿の滋養成分に注目し、商品化のアイデアを提供

## 新商品の開発

新商品の例

ラム酒に漬けた干し柿アイスを開発

## 市場へ販売

## 経営の向上・改善

## これまでの助成実績例

富山県産米「富の香」を使用した「富の香 純米吟醸 熟成無濾過生原酒」商品の製造販売

朝摘み完熟の氷見産夏秋苺の風味を活かした加工食品の開発・製造・販売

未活用のヘチマの葉を使用した「ヘチマ茶」の商品開発と販売

飼料用米を配合した地域ブランド卵「とれたて小矢部たまご」を活用した多様な商品開発・製造・販売

富山県産菜種油ベースのみつろうクリームの商品化による休耕田の活用  
※みつろう(蜜州)とは、ミツバチが体内から分泌したロウで、巣の主成分。保湿、柔軟作用等がある。

庄川ゆずを活用した香り豊かな「ゆずペースト」入り塩辛の開発・製造・販売

黒部産そばを使用した栄養価の高い「そばの実餃子」の商品開発・販売

富山の特産「塩辛」を加工した「塩辛ふりかけ」(黒作り、赤作り、白作り)の開発・製造・販売

山田地区特産柿酢入り加工商品(柿酢ぼん酢・柿酢醤油・柿酢ドレッシング・柿酢味噌)の開発及び、「柿酢ソース」の改良、販売

富山の梨を原料とした加工品の開発・製造・販売

## ●「経営資源」として想定されるもの

- (1) 中小企業者：技術、ビジネスノウハウ、ネットワーク、特許や商標、販売方法など。
- (2) 農林漁業者：生産技術、ビジネスノウハウ、機械設備など。

## ●「新商品」、「新サービス」として想定される事例

- (1) 中小企業者：農林水産物を活用した新たな加工食品、化粧品の開発・製造・販売など。  
レストランでの新メニューの提供、農林水産物やその加工品の直売所の設備など。
- (2) 農林漁業者：中小企業の技術を活用した新しい品種の開発・製造など。

## ●「工夫を凝らした取り組み」として想定されるもの

新しい材料の導入や新たな製造方法、加工方法の導入、顧客ニーズに合わせた新たなサービスの導入など。

## ●経営の向上・改善とは

中小企業者、農林漁業者双方の売上が増加すること。